ききょう通信

2008年5月

発　行　桔梗が丘まちづくり委員会
連絡先　桔梗が丘公民館内
TEL 65−1206
FAX 65−1206
Eメール　kikyou-ko@emachi-nabari.jp

5439 世帯・14053 人
（4月1日現在）

「全員参加」を重点目標に

新しい活動方針、予算などを承認

まちづくり委の20年度定期総会

5年目を迎えた桔梗が丘まちづくり委員会の平成20年度定期総会は4月26日、桔梗が丘南公民館で開かれ、平成19年度事業及び一般会計決算と同年度公民館特別会計、さらに新年度活動方針・事業計画及び一般会計予算・公民館特別会計予算が代議員会の賛成多数で原案通り承認された。また、委員会の新会長に吉野孝司さん（四番町五―七―六）、副会長に小林道昭さん（西七番町八八）と長澤誠一さん（西六番町一―二八）がそれぞれ選任・同意された。

新会長に吉野氏（四番町）

新年度の一般会計収支額は1210万円で前年度比109万7000円の増。収入の部は地区会費99万円、市のゆめづくり地域交付金680万1000円、前年度繰越金430万5538円、預金利息などの諸収入3462円。これに対し支出の部は、総務費455万円▽保健福祉費210万円▽環境費15万円▽教育文化費28万円▽生活安全費65万5000円▽広報費43万円▽自治振興費105万円▽積立金200万円▽予備費88万5000円――となっている。

活動方針は地域の安全・安心、児童生徒をはじめ社会で活躍してきた世代らの参画による全員参加のまちづくりを重点目標に、検討課題として「区長会との融合（一本化）」「補助金交付制度の啓発・普及」「会則の見直し」「桔梗が丘10号公園整備」「まちの保健室との協働事業」などを挙げている。

なお、総務など各部会が計画している事業には、敬老の日行事・ききょう健康まつり・ふれあいいきいきサロン活動・健康講座（保健福祉）▽ごみ拾いローラー作戦・シャックリ川でのホタル観賞会・バードウォッチング（環境）▽こころの思い発表会・ふるさと歴史ハイキング・桔梗ずセミナー開催（教育文化）▽危険か所解消・改善、防災への取り組み・公民館にAEDの設置及び普通救命講習会の開催・迷惑駐車防止の啓発など（生活安全）▽夏祭り開催・交流イベントの開催（自治振興）などがある。このほか、10月ごろに改修された公民館のリニューアル記念事業や児童の登下校に際しての安全対策にも取り組む。

総会の席上、代議員や傍聴者からは「高齢化時代を迎え、整備された10号公園にトイレが必要だとの声が多くなっている」「敬老の日行事に参加できない人への配慮が足りない」「剰余金の膨らいでいるのに違和感がある」といった声が出ていた。

桔梗が丘まちづくり委の新年度定期総会

対前年比105万余円の減

公民館収支額

一方、公民館運営にかかわる特別会計収支額は1955万円で、対前年比105万8000円の減。支出の部は人件費など952万円▽消耗品・燃料・光熱水費、委託手数料など管理費758万円▽運営費77万円▽事業費100万円などとなっている。

（裏面に新役員を紹介）

「都市内分権」見据えた改革を

就任あいさつ

吉野孝司会長

桔梗が丘まちづくり委員会は、発足から5年目を迎えます。この間、多くの方が「住み良いまちに」を合言葉にさまざまな取り組みに努めてまいりました。そんな折、山崎雅章会長が1月に急逝され、副会長だった私が3月末まで会長の職務を代行、4月の区長会で会長就任の推薦を受け、新年度定期総会で承認を得ました。

現在、名張市は自主自立の自治体を目指すべく「都市内分権」の推進に着手しています。委員会としては「住民自治の確立」にどう反映されるかを見据えて改革を進めてまいりたいと考えています。

委員会と区長会は密接に連動しています。区長をはじめ、住民の皆さんも委員会の各部会へ参画していただき「住み良いまち」づくりへのご協力・ご支援をお願いしたいと思います。

平成20年度一般会計予算

（収入の部）　（単位：円）

項	目	前年度予算額	前年度決算額	20年度予算額
1.会費	会費	980,000	981,600	990,000
2.交付金	市交付金	6,950,000	6,950,000	6,801,000
3.繰越金	繰越金	3,072,001	3,072,001	4,305,538
4.諸収入	雑入	999	8,423	3,462
合計		11,003,000	11,012,024	12,100,000

（支出の部）

項	目	前年度予算額	前年度決算額	20年度予算額
1.総務費	1.事業費	250,000	147,000	600,000
	2.補助金	700,000	345,800	700,000
	3.安全対策費	1,200,000	626,860	1,200,000
	4.報酬・報償費	500,000	301,000	500,000
	5.会議費	100,000	40,094	100,000
	6.研修費	400,000	198,381	400,000
	7.備品購入費	700,000	232,560	500,000
	8.事務費	400,000	387,162	400,000
	9.雑費	0	0	150,000
	小計	4,250,000	2,278,857	4,550,000
2.保健福祉費	1.事業費	800,000	686,626	850,000
	2.繰出金	2,050,000	1,934,276	1,250,000
	小計	2,850,000	2,620,902	2,100,000
3.環境費	1.事業費	200,000	121,364	150,000
	小計	200,000	121,364	150,000
4.教育文化費	1.事業費	240,000	249,361	280,000
	小計	240,000	249,361	280,000
5.生活安全費	1.事業費	160,000	45,600	655,000
	小計	160,000	45,600	655,000
6.広報費	1.事業費	490,000	473,970	430,000
	小計	490,000	473,970	430,000
7.自治振興費	1.事業費	150,000	158,592	150,000
	2.繰出金	900,000	757,840	900,000
	小計	1,050,000	916,432	1,050,000
8.積立金	積立金	1,000,000	0	2,000,000
	小計	1,000,000	0	2,000,000
9.予備費	予備費	763,000	0	885,000
剰余金			4,305,538	
合計		11,003,000	11,012,024	12,100,000

（注）予算に不足が生じた時は、項、目間において流用することができる。

〝オアシス〟ができた

散策路や東屋も整う

6番町側の沈砂池の橋から望む富士講田池脇にある「東屋」

10号（自然）公園の化粧直し終わる

2005（平成17）年度から3か年計画で進めてきた10号・自然公園の整備工事が完了、桔梗が丘住民の念願だった〝オアシス〟が誕生した。

化粧直しされたのは水利用だった富士講田池を中心に約4ヘクタール。桔梗が丘公民館前の市道桔梗が丘西原町線沿いと、6番町児童公園前などにメイン・サブメインの出入り口を設け、石段なども整えた。さらに「富士講田」と「丈六谷」両池間の堤防上には2・5メートル幅の園路も整備されている。

当初計画された「水上デッキ」「照明灯」「トイレ」などは安全・防犯面で見送られたものの、堤防の南詰めに木製の東屋を建設。園内の散策路も急な傾斜は歩きやすいように手を入れ、枯れた樹木などは間引きした。

住宅団地造成前の10号公園は、農事関係の水利用池と民間が所有する里山だった。貴重な自然に恵まれていたが、開発などの諸事情から名張市が買い戻し、地元のまちづくり委員会が整備構想をまとめてきた。

散策路を飾るドウダンツツジ

まちづくり委の新役員

桔梗が丘まちづくり委員会の平成20年度新役員は次の皆さん。

（敬称略）

会長＝吉野孝司▽副会長＝長澤誠一、小林道昭▽書紀＝吉岡肇（四番町二―七二）▽会計＝森中庸祐（西三番町一―八二）▽理事（総務部会長）＝林田成吾（南一番町一―六三）▽同（同副部会長）＝金谷保史（二番町三―二）▽同（保健福祉部会長）＝仁科昌之（二番町七―一〇一）▽同（環境部会長）＝竹内正敏（西一番町一〇一）▽同（教育文化部会長）＝竹原啓子（南三番町一―六六）▽同（生活安全部会長）＝大久保之生（一番町四―二二）▽同（自治振興部会長）＝廣岡貞之（三番町四―四一―八九）▽同（公民館長）＝山田得治（五番町四―二八）

なお今後、管理運営方法について協議を進める。

6月1日にクリーン作戦

まちづくり委員会の環境部会は名張市のクリーン行事に合わせて、6月1日（日）午前9時から「ききょうクリーン大作戦」を実施します。参加希望者は5月23日（金）までに桔梗が丘公民館（TEL65・1206）へ連絡してください。小雨決行。

当日は、桔梗が丘南公民館に集合し、地区内の主要幹線道路を中心に清掃し「ごみゼロ」に努めます。なお、軍手・火バサミは環境部会で用意しています。詳細は同公民館へ。

編集室から

○……「ききょう通信」が発刊されたのは1995年。桔梗が丘住宅地の誕生から30年後ですから、13年の歴史を誇ります。当時は、地区の環境美化、社会福祉、青少年育成といった各協議会の協力を得てスタートしており、まさにまちづくりの〝先達〟でもあったようです。

○……「高齢化社会を支える世代間の相互理解を深める」「あるべき社会システムの構築を追求・模索していく」。創刊号の紙面にはこのような記事が見られます。今、住民の手によるまちづくりは試行錯誤を重ねています。それだけに「通信」も大きな責任を感じます。

○……区長制度の廃止、都市内分権を見据えたまちづくり。急速に変化する流れの中で住民自治に何が求められるのか。住民の皆さんからもご意見・ご提言を寄せてください。連絡は公民館事務局（TEL65・1206）まで。

生き生き健やかに

～『桔梗が丘地区まちの保健室』から～

がん診療について

開設から3年目を迎えました。たくさんの人との出会いを通じて、バタバタしながらも生き生きと仕事をさせていただいています。「まちの保健室」は、市民の健康のこと、日常生活での心の悩みなどを気軽にご相談ください。

スタッフは、井戸本千枝子と上林真理子です。元気と明るさが取りえの30代（気持ち……）、よろしくお願いします。

さて、皆さんは市広報「なばり」の四―二号をご覧になったでしょうか。5月から始まった医療機関でのがん検診についてお知らせしています。この中で、昨年と異なる点はこれまで無料だった70歳以上の人も自己負担が必要になったこと▽従来、7～9月だった実施時期を5～7月に早めたため▽検診票が医療機関にあること――などです。

また、成人検診の名称が「特定健康診査」に変わり、現在加入している医療の保険者（国保、共済組合、健保組合など）が実施することになりました。詳しいことは、保健センター（TEL63・6970）か、桔梗が丘地区まちの保健室（TEL65・1299）にお問い合わせください。

今年は6月21日 ホタル観賞会

初夏の夕べに〝光の舞〟を楽しむ「ホタル観賞会」が6月21日（土）午後7時から桔梗が丘南小学校付近のシャックリ川で開かれます。

まちづくり委員会の環境部会が行う恒例行事で、講師は伊賀自然の会の加納康嗣さん。参加者は桔梗が丘南公民館に集合した後、加納さんから「ホタルの一生」についての話を聞いてから観賞に入ります。

参加申し込みは公民館（TEL65・1206）へ。なお、小学生以下（参加賞を進呈）は保護者同伴としています。